

庁議の概要

開催日 平成27年2月16日（月）

◎項目

1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

◎内容

1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

総務部が取りまとめた各部署等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部署による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○国際友好交流の推進について

（文化生活部）

来年はフィリピンのベンゲット州との姉妹提携40周年ということで、関係団体と協議をしている。ベンゲット州からはくろしお農業振興協同組合の方に多くの研修生が来ており、事務局である国際交流協会を中心に、どのように展開していくのか、打ち合わせをしていく。

○「全国移住ナビ（仮称）」について

（産業振興推進部）

地方創生の動きの中で国が全国移住促進センターとして、全国に向けた情報の一元発信を行うという項目があり、その中の一つに「全国移住ナビ」というシステムを新たに構築することとなっている。国から要請があり、その実務検討会に高知県もメンバーとして入ることになっている。この「全国移住ナビ」は、高知県の「幸せ移住パッケージシステム」とほぼ同じようなものを想定しているようで、仕事、住居、生活環境といった情報を一元的に発信するものである。全国の情報を集めてこのシステムを通じて発信するというので、国の力により情報発信してくれることをプラスに捉えて、情報の質で競争に勝っていく必要があると思うので、引き続き各部署からの情報提供について一層の協力をお願いする。

○「鯖ナイトFeat 清水さば@東京」について

（水産振興部）

水産物の販売力の強化と魚価の向上の関係で、東京渋谷の店舗において、清水さばの「鯖ナイト」という催しが行われることになっている。全日本さば連合会の主催であるが、この連合会は、もともと東京の西小山、武蔵小山のさば好きの住民の方々が集まり「さば部」というものをつくり、さば料理を楽しむ会やさばについてのトークショーなど行っていたものが拡大して、一昨年に全日本さば連合会となったようである。中心となっているのは、食文化ジャーナリストや薬膳アテンダントというような肩書きを持ち、

大手出版社の情報誌などにも連載をしている方で、東京事務所のアテンドで昨年12月初めに土佐清水を訪れて、実際に清水さばを食べてもらい、非常に気に入っていただき、フェイスブックなどでいろいろと情報を発信してくれている。この「鯖ナイト」当日は漁協の方々が、朝絞めたさばをそのまま飛行機に乗って持っていくことにしている。既に店の方は多くのキャンセル待ちの方がいる状況になっている。

(東京事務所)

「鯖ナイト」は、人気のあるイベントなので、東京事務所としてもフォローしていきたい。

○契約事務等について

(会計管理局)

今回、「契約事務のチェックシート」を作成した。監査からも契約事務のミスが多いという指摘を受けている。そのため、間違いやすいところなどを中心にこのチェックシートを作成した。担当者や決裁権者の手元に置いて活用していただきたい。

(監査委員事務局)

今年1年間の監査の状況は、236機関について監査を行い、若干指摘件数、ミスが増えている。平成20年度の指摘件数等は621件であったが、平成25年度は205件まで減ってきていた。平成26年度は243件と2割弱増えている。

その傾向としては、契約事務が92件と多く、その他は支出事務75件、収入事務24件と契約・支出・収入のいずれも増加している。先日行った監査委員会議において、監査委員から管理職員等による指導の徹底とチェック体制の強化、緊張感を持って予算執行に当たられたいとの意見が出されている。会計管理局においてもチェックのためのツールを作成してくれており、こうしたものを活用して、少しでも公金の適正な執行に努めていただくよう、各部局での徹底をお願いします。